

TKG部参加してみませんか？



デベロップスクールメンバー
さくらフェスティバル実行委員

ましこ いくみ
益子 郁美 さん

「一度、TKG部に来てみて、こういう活動をしているんだと知っていただきたいです。」と楽しそうに話す益子さん。

みの〜れと共に生活するスタイル

Minole Life
のすすめ

No.126

卵によって広がる 人との絆

師走に入り今年もあとわずかになり、忙しく過ごす日が多くなりました。庭先では可愛らしいパンジーやビオラが・家の中ではシクラメンやポインセチアが目を楽しませてくれますね。22日は冬至。かぼちゃを食べたり、柚子湯に入ったり、血行を促進したり、身体を温めて風邪を予防してください。今回はデベロップスクールと来年4月に開催される、さくらフェスティバルの実行委員メンバーの行方市にお住まいの益子郁美さん取材します。

益子さんはみの〜れデベロップスクールのメンバーで水戸市にある専門学校の講師の先生の紹介でみの〜れに足を運ぶようになって約2年。「最初、グループの人たちは何でも出来る人たちだったので話にはついていけなかったのですが、話を聞いてみるだけでも勉強になりますね。毎月第2木曜日に行われる『TKG(たまごかけごはん)部』に参加しています。炊き立てのご飯にその日の朝に生まれた新鮮なたまごに、かつおぶしや納豆を加えたり、その他にもいろいろな相性の良い食材にも挑戦しています。ここに参加するまではたまごかけご飯を食べなかったのですが、参加するようになって食べられるようになり、朝、時間のないときにさきと食べることができるので良かったなと思います。最初の頃、『TKG(たまごかけごはん)』は、こじんまりとメンバー

だけで活動していたのですが場所を喫茶コーナーに移すと、だんだんと参加者が増えてお子さん連れだったり、遠方からも足を運んでくれるようになって良かったなと思います。楽しいので、ぜひ参加してください」と話してくれました。「活動を続けているうちに、お客様をみの〜れに呼ぶために自分たちで何かをやるうー!ということになって・小美玉で出来るもの...せっかくだから卵の殻を何かに利用出来ないか?という話になって、デベロップのメンバーの知り合いにいらきキャンドルナイト代表の井坂勇方さんがいて、協力してもらいました。目標だった卵の殻1000個があつという間に集まり、今、2000個(12月9日で1800個)が目標になりました。卵の殻を持ってきてくれる人、口ウを流してくれる人、卵の殻を割ってくれる人と参加の輪が広がって良かったと思います」と益子さん。

「湯煎にかけた口ウにクレヨンをくると回すと色が付いてパステルカラーのかわいいキャンドルが出来ます。その中に一度口ウをくぐらせた糸をゲル状になった時に差し込むとまっすぐ立ちます。最初の頃は出来上がった物を殻から外すのが大変だったので、試行錯誤の中で外す方法を発見しました。とにかく一度、こういう活動をしているんだなとみてもらいたいですね」と楽しそうに話してくれました。

2018年1月14日(日) 16時からみの〜れでTAMAGOキャンドルナイトを開催します。柔らかなキャンドルの灯りの中で楽しいひとときを過ごしてみませんか?

今年も12名の輝く人に出逢えてとても楽しかったです。来年もよろしくお願いします。

(藤田佐知子)